

報告事項カ

令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査
結果について

令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果に
ついて、別紙のとおり報告します。

令和7年11月19日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

令和7年11月19日

生徒支援・教育相談センター

令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果が10月29日に文部科学省から公表され、本県の調査結果の概要は次のとおりでした。この結果を受け、不登校やいじめ、暴力行為等、様々な困り感を抱えた児童生徒の理解に基づいた支援の充実を目指して次のような取組を進めますので調査結果とともに報告します。

1. 令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

○本県の状況（国公立）及び全国（国公立）との比較 ※表中の（ ）内の数字は令和5年度の数字を示す。

(1) 不登校

＜対象：国公立小・中・高(全日制・定時制)＞

校 種	不登校児童生徒数（人）	100人あたりの不登校児童生徒数（人）	
	鳥取県	鳥取県	全国
小学校	653 (634)	2.39 (2.27)	2.30 (2.14)
中学校	1,111 (1,022)	7.72 (7.19)	6.79 (6.71)
高等学校	280 (279)	2.07 (2.02)	2.33 (2.35)

- ・鳥取県における不登校児童生徒数は小・中学校で過去10年で最も高くなっており、引き続き個々の要因・背景の分析を基に対応の徹底を図るとともに、効果的な取組を全県で進めていく。
- ・鳥取県における100人当たりの不登校児童生徒数（出現率）は小・中学校で全国平均を上回っている。

(2) いじめ

＜対象：国公立小・中・高(全日制・定時制・通信制)・特別支援学校＞

校 種	認知件数（件）	1,000人あたりの認知件数（件）	
	鳥取県	鳥取県	全国
小学校	1,204 (1,596)	44.1 (57.2)	101.9 (96.5)
中学校	452 (549)	31.3 (38.6)	42.6 (38.1)
高等学校	72 (58)	5.3 (4.2)	5.9 (5.5)
特別支援学校	59 (29)	74.2 (40.9)	23.8 (22.3)

- ・1000人当たりの認知件数は小中学校において令和5年度より減少しており、特別支援学校で全国の1000人当たりの認知件数よりも上回っている。

(3) 暴力行為

＜対象：国公立小・中・高(全日制・定時制・通信制)＞

校 種	発生件数（件）	1,000人あたりの発生件数（件）	
	鳥取県	鳥取県	全国
小学校	535 (605)	19.6 (21.7)	13.8 (11.5)
中学校	427 (416)	29.7 (29.3)	12.6 (10.4)
高等学校	57 (51)	4.1 (3.6)	1.8 (1.7)

- ・すべての校種において1,000人当たりの発生件数が全国平均を上回った。
- ・小学校のみ令和5年度より減少した。

2 調査結果の分析及び考察

【不登校】

- ・「教育の機会確保法」の趣旨の浸透による児童生徒及びその保護者の学校を休むことへの抵抗感の希薄化、夜遅くまでスマートフォンやゲームを使用することなどによる生活リズムの崩れ等が不登校の増加につながったと考える。
- ・校内サポート教室の支援員や学校生活適応支援員など、人との関わりによって、不登校児童生徒の登校に対する意欲的な行動や変容が見られるようになった。
- ・新規不登校数は減少しており、未然防止の取組の効果が現れ始めている。

【いじめ・暴力行為】

- ・小学校における暴力行為の件数の減少は、困り感のある児童について丁寧に見立てをし、適切な支援を行うことで未然防止や暴力行為の繰返しの防止に繋がることが多かった。
- ・令和5年度の新型コロナウイルス感染症の5類移行による学校生活の大きな変化は、令和6年度も引き続き発達に課題のあると思われる児童生徒にとって大きなストレスとなっていると思われる。

3 今後の取組（来年度当初予算編成の中で検討）

○学校における諸課題の未然防止と早期支援

「学校支援チーム」「包括的支援体制づくりスーパーバイザー」派遣による学校への支援

- ・「チーム学校」で対応する学校の組織力の強化
- ・多様な背景・要因を抱える児童生徒を理解し見立てる教職員の力の向上と、アセスメント・プランニングによる生徒指導上の諸課題や不登校の支援の推進

○不登校児童生徒等への支援

- ・校内サポート教室（中学校）の充実
- ・自宅学習支援事業の市町村への展開の検討
- ・相談・指導につながっていない、あるいは主に家庭で過ごすなどの不登校児童生徒への支援の検討

○生徒指導上の課題の低年齢化への対応のための小学校への支援

- ・学校生活適応支援員の充実
- ・校内サポート教室の小学校配置の拡充
- ・スクールカウンセラーの小学校への重点配置の拡充

○いじめの未然防止や適切な初期対応につなげる取組

- ・「鳥取県いじめの防止等のための基本的な方針」の改訂と学校等への周知、徹底
- ・いじめ問題に関する行政説明会（悉皆）の継続実施
- ・いじめの未然防止を含む児童生徒の自己肯定感を高める取組の継続